

# DELL TECHNOLOGIESは、RSA® IDENTITY GOVERNANCE AND LIFECYCLEにより、監査作業を50%削減し、コンプライアンスの姿勢とユーザー エクスペリエンスを向上させます



他の同じ規模の企業と同様に、企業全体で従業員の役割が定期的に変更されることがあります。ただし、ある役職から別の役職に移動すると、個々のアクセス権が蓄積されるという基本的なパターンが観察されました。社内の複数の部門にわたって可視性が得られないため、ユーザーの混乱や不満を招くことがよくありました。これにより、アクセス問題の解決に遅れが生じ、それに比例して非効率性を原因とするサポートコストも増加しています。

デルの環境の規模は、タスクの複雑さにさらに拍車を掛けています。グローバル インフラストラクチャには、何百ものビジネス アプリケーションと数千のデータベース インスタンスが含まれています。通常、承認された各個人が、複数のシステムへのアクセス権を保持しているため、すぐに変化する100万を超えるIDと、対応する数のビジネス関連の要求を、毎年積極的に管理する必要がありました。

## エンタープライズクラスのセキュリティとコンシューマーグレードのユーザー エクスペリエンスの必要性

会社のレガシー テクノロジーを使用する場合、特定のデータ要素やアプリケーションを利用するための個々の正当な権利をアクセス権が適切に反映するようにするために、多くの時間をかけて追加作業を実施していました。

デルのIdentity and Access Management (IAM) テクノロジー マネージャーであるRitesh Mohanは、「セキュリティの脅威と監査は年々熾烈な戦いを繰り広げており、当社の運用の規模を考えると、迅速な対応を行わない限り、従来のポイント ソリューション、テクノロジー、手動プロセスではあつという間に太刀打ちできなくなることに気付きました」とコメントしています。

2002年のサーベンスオクスリー法 (SOX) などの規制条件を効率的に遵守することを目的として、会社の重要なインフラストラクチャへのアクセスを効果的に管理するための「最小特権」アプローチを採用する決定が下されました。「最小限のアクセス権を維持し、法令遵守を確保することは、変革を推進する最大の要因でした」とMohanは述べています。「基本的な設計理念として、コンシューマーグレードのユーザー エクスペリエンスを備えたエンタープライズクラスのセキュリティ ソリューションを導入するという目標も設定しました。」



## お客様のプロフィール

テキサス州ラウンドロックにあるDell Technologiesは、世界最大の個人管理されたコンピューター テクノロジー企業です。サプライ チェーン マネジメントとeコマースの革新で著名なデルは、製造業に対する「受注生産」アプローチに革命をもたらし、個別に構成されたPCを世界中のお客様に迅速に提供できるようにしました。

180か国に22万5,000人の従業員と派遣労働者を擁し、各地域はさまざまな地域の規制の対象となっているため、アプリケーションとデータへのアクセスの管理、制御、施行は永続的な課題でした。会社の動的な成長と統合活動の成果として、IDを管理するために使用される多数の異なるシステムが急増したため、状況はさらに複雑になりました。

## 競合製品よりも優れたRSA

IAMチームは、潜在的なソリューションの実行可能性を判断するのに役立つ詳細な評価基準を作成しました。要件としては、全社的な管理と可視性、操作性、拡張性、単一の集中管理された場所からの特権アクセスを含むすべてのIDを管理する機能が挙げられます。

分析が完了すると、デルのチームは、RSA SecurID® SuiteをIDおよびアクセス管理戦略の中核として選択し、組織全体にわたって段階的な展開に着手しました。デルは、RSA Identity Governance & Lifecycleを実装し、複数の異種システムを1つのIDアクセスおよびガバナンス ツールに統合し、組織全体で使用することになりました。RSAのシングル サインオンと強力で高度な認証を使用して、クラウドおよびオンプレミス アプリケーションのアクセス管理を実現するために、RSA SecurID Accessが導入されました。

RSA Identity Governance & Lifecycleプラットフォームの固有の構成可能性により、IDプロビジョニング機能全体の移行を3か月以内に完了できました。

## 100万以上のIDを管理

デルは、既存のツールをRSA Identity Governance & Lifecycleに置き換えて、Joiner、Mover、Leaverのプロビジョニングとプロビジョニング解除に加え、すべてのアクセス要求を管理しました。22万5,000のIDと100万以上の資格を含む、会社全体のアクセス権を一元的に確認、管理、認定して、継続的な法令遵守を確保することができます。統合されたRSAソリューションは、社内と社外の両方のユーザーに対して、すべてのビジネス アプリケーションにわたり完全なIDライフサイクル管理を提供します。

デルは、会社全体で多要素認証を促進するソリューションを必要としていました。そこで、ハードウェアトークンとソフトウェアトークンを利用できるようにRSA SecurID Accessを選択しました。さらに会社全体の多要素認証を容易にするモバイル生体認証とワンタイム パスワードを採用しました。

## 結果

チームは関係者と緊密に連携し、IAMの実装が会社のビジネス ニーズとコンプライアンス要件を正確に反映していることを確認しました。RSA Identity Governance & Lifecycleによって提供される、すべてのID管理関連機能を単一のプラットフォームに統合する機能により、運用コストを大幅に節約できました。

## 監査作業の半減

「以前は、チームが1つの再認定キャンペーンを実行するだけで600時間以上かかっていました」とMohanは述べています。「RSA Identity Governance & Lifecycleの導入によって統合と自動化が可能になったため、この時間を50%削減できました。」

IAMチームは年2回の手動のSOX再認証イベントを行う必要がありましたが、RSAコンポーネントが実装されると、喜ばしいことにアクセスと認証の問題が大幅に減少しました。Identity and Access Management (IAM) アシユアランス マネージャーのJona Plotkinは、「これまでは非常に多くの監査の例外を発見していましたが、RSAソリューションが導入されたことで、その数はわずかに減りました」と観察しています。

ガバナンスの観点から見ると、新しいIAMプラットフォームを使用することで、プロセス全体を通して、それぞれの再認定イニシアティブの進捗状況と有効性を監視することができます。これはこれまでできなかったことです。

「これまでは非常に多くの監査の例外を発見していましたが、RSAソリューションが導入されたことで、その数はわずかに減りました。」

- デル、Identity and Access Management、Ritesh Mohan

「以前は、チームが1つの再認定キャンペーンを実行するだけで600時間以上かかっていました」とMohanは述べています。「RSA Identity Governance & Lifecycleの導入によって統合と自動化が可能になったため、この時間を50%削減できました。」

- デル、Identity and Access Management、Ritesh Mohan

「RSA Identity Governance and Lifecycleに関する全社的な標準化により、運用コストの削減、従業員のエクスペリエンスの向上、市場投入までの期間短縮、リスク プロファイルの減少が実現し、ビジネスの付加価値が創出されました。実に大きな結果を得ることができました」

- デル、Identity and Access Management、Ritesh Mohan

## 運用効率の向上

SOXキャンペーン以外では、RSAソリューションは自動メールによって時間を節約し、よりタイムリーな応答を可能にし、問題解決に必要なフォローアップ作業を削減します。マルチスレッドのバックエンド処理により、レガシーシステムで発生する頻繁なボトルネックが軽減されます。新しい機能とワークフローの更新と導入は、大幅に短縮されたタイムライン内で実行でき、完了に必要なリソースが少なくなります。

Salesforce、Microsoft Office 365、Workday、Google Appsなどの一般的なSaaSアプリケーションとのすぐに使える統合により、RSA SecurID Suiteの魅力がさらに高まります。デルは相互運用性を活用して、リソースが主要なビジネスの問題に再び集中できるようにしています。また、RSA Identity Governance & Lifecycleの卓越した標準構成機能により、カスタムコーディングの必要性も最小限に抑えられました。加えて、OPEXをさらに削減し、タイムトゥバリューの短縮を可能にしています。

このプラットフォームには、エンドユーザーも利用できる直感的なレポートインターフェイスが含まれ、効果的なガバナンスに必要な可視性と制御がさらに強化されています。別々のサーバーにアクセスしなくてもログを直接表示できるため、通常は拡張ログ監視機能に関連する追加のインフラストラクチャコストが不要になります。

## ユーザーエクスペリエンスの向上

最適なユーザーエクスペリエンスを実現するためのRSAによる投資は、全社的な採用率と使いやすさにプラスの影響を与えています。高度に調整されたユーザーインターフェイスにより、デルの一般的なレガシーシステムの3倍の速度でトランザクションを実行できます。また、あらゆるモバイルデバイスで利用可能な直感的なインターフェイスを使用してプラットフォームにアクセスできるため、その人気はさらに高まっています。

Mohanは次のように結んでいます。「RSA Identity Governance & Lifecycleに関する全社的な標準化により、完全に準拠し、監査に対応したIAM戦略を推進するための詳細なビジネス要件を選択できるようになりました。また、運用コストの削減、従業員のエクスペリエンスの向上、市場投入までの期間短縮、リスクプロファイルの減少により、ビジネスの付加価値を創出しました。実に大きな結果を得ることができました」

## 事例のサマリー

Dell Technologiesの成長および統合戦略により、危機的状況にあったID管理が課題となりました。複数の独立したシステムの急増と企業全体の可視性の欠如は、100万以上のIDを管理し、要求の厳しいサーベンスオクスリー法などの社内外の要件に絶えず準拠するという企業の能力に大きな影響を与えました。

しかし、RSA SecurID AccessおよびRSA Identity Governance & Lifecycleを備えた、拡張性の高いRSA SecurID Suiteの実装により、特権アカウントを含むすべてのユーザーアクセスの詳細な可視化と制御が容易になりました。レガシーシステムを廃止した結果、ライセンスとサポートコストが大幅に節約され、法令遵守を実証するために必要な労力が50%削減されました。

## RSAについて

RSAはBusiness-Driven Securityソリューションを提供し、さまざまな組織が、統合的な可視性、自動化されたインサイト、および組織的なアクションを使用してデジタルリスク管理のための統合的なアプローチを採用できるようサポートしています。RSAのソリューションは、高度な攻撃の効果的な検出と対応、ユーザーアクセス制御の管理、さらにビジネスリスク、不正行為、サイバー犯罪の削減を目的として設計されています。RSAは、世界中の数百万人のユーザーを保護し、Fortune 500の企業の90%以上が成功し、革新的な変化に継続的に適応できるように支援しています。詳細は[rsa.com/ja-jp](https://rsa.com/ja-jp)をご覧ください。